

進路便り 11月号



中間考査の成績ができました。得意不得意はありますが、自分にできる準備をしっかりと、納得のいく成績を修めることができましたか。希望の進路実現に向けて、「どうしてあのとき自分はもっと頑張っておかなかったのだろうか…」などと後悔しないように、毎日の高校生活を大切にしてください。具体的には、

「授業を大切に、基礎的な学力を身につけると同時に評定平均を上げる」

「遅刻、欠席をしない」「日頃から服装、言葉づかいに注意して身につける」

を、心がけましょう。

次年度科目選択（1・2年生）

- ・ 進路実現に必要な教科・科目をしっかりと考えて選択することが大切です。
「進路希望調査」に記入した希望の進路に必要な科目を調べて、保護者の方や担任の先生としっかり相談をしてください。
- ・ 同時に、入試や進学先での学習に支障がなければ、評定平均値のことを考えて科目を選ぶことも大切です。指定校推薦や公募推薦の利用を考えている人は、一定の評定が必要になります。また進学先によっては、入試には出なくても将来の資格取得に必要な科目があります。よく調べて選択しましょう。
- ・ 就職を希望している人は、欠席日数(皆勤がベスト!)が重要です。そのうえで一般教養が必要です。全教科をまんべんなく勉強しましょう。学校での学習だけではなく新聞・テレビ・ネット等で時事問題にも興味をもつことも大切です。

3年生の受験報告書（進学・就職）より

1、2年生のみなさんの進路実現の参考のために、3年生の受験報告書の内容から一部抜粋してまとめたものを紹介します。

進学

- 学校の志望動機と学部/学科/専門分野の志望理由は別々に考えておくこと。
- 「進学先の学校で何をがんばるか、高校生活で何をがんばったか」を答えられるようにしておくこと。
- 模擬面接に真剣に取り組んで準備しておくこと。
- オープンキャンパスまたは学校説明会に必ず参加しておくこと。
- 「将来どんな職業につきたいか」を答えられるようにしておくこと。

就職

- 学校で何回も練習しているので、能勢高校生は面接に強い。学校での模擬面接練習を大切にすること。
 - 適性検査・小論文も重視される。筆記試験が難しい。しっかり勉強すること。
 - 普段から正しく制服を着ることや敬語を使うことに心がけていれば、自然と身につくので不自然さはなくなると思う。
 - 面接では履歴書を見ながら質問される。求人票・会社案内をしっかりと読むことに加えて、履歴書に書いたことには答えられるように準備しておくこと。
- ★筆記試験ではSPIのような国語・数学分野に関わる総合適性検査を実施する企業が増えています。80分という限られた時間内に、多くの問題に集中して取り組む検査です。基礎学力はすぐにはつきません。これからの進路に向けて、毎日の学校生活を大切に過ごしましょう。